

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】  
HIV 検査受検勧奨に関する研究  
(分担)研究報告書

エビデンスにもとづいた、  
HIV 検査に関する Q&A 集（専門職向け）の作成

研究分担者	加藤真吾	慶應義塾大学医学部	微生物学・免疫学教室
研究協力者	川畑拓也	地方独立行政法人	大阪健康安全基盤研究所
	井戸田一朗	しらかば診療所	
	小島洋子	地方独立行政法人	大阪健康安全基盤研究所
	近藤真規子	神奈川県衛生研究所	
	貞升健司	東京都健康安全研究センター	
	佐野貴子	神奈川県衛生研究所	
	須藤弘二	慶應義塾大学医学部	微生物学・免疫学教室
	高田 昇	中国電力株式会社	中電病院
	長島真美	東京都健康安全研究センター	
	森 治代	地方独立行政法人	大阪健康安全基盤研究所

研究要旨

HIV 検査に携わる医師や病院看護師、検査技師や、自治体の保健師や行政の担当者、NPO/CBO の関係者が日々直面する HIV 検査に対する質問や疑問を解消するため、最新のエビデンスに基づいた「HIV 検査に関する Q&A」集の作成に取り組んだ。今年度は各編集委員から集まった Q&A 集の原稿の校正と、新たに略語解説の追加を行った。

A.研究目的

様々な HIV 検査の現場で活用できる、最新のエビデンスに基づいた HIV 検査に関する資料集がこれまで存在しなかったため、作成することとした。

B.研究方法

事前に大阪府保健所の検査室担当職員にアンケート調査を実施し、検査担当者におけるニーズの把握を行った。その結果より、質問が多かった点を中心に、資料に盛り込み解説する項目を決定した。また、資料は手に取った者がなじみやすい様、Q&A 集の体裁をとることとした。

その後、編集委員で解説項目（質問）を分担し、各質問に対する回答を、文献を引用しながら作成した。

(倫理面への配慮)

Q&A 集の作成には、HIV 陽性者等当事者の人権に十分配慮した。

C.研究結果

昨年度本文に採用した三章（第一章「HIV 検査の基礎知識」5 項目、第二章「医療機関における HIV 検査」6 項目、第三章「HIV 検査担当者向け」10 項目の原稿を、各編集委員に執筆を依頼し、収集した。その後、相互に校正を行った。さらに、上記の本文項目に加え、新たに「略語解説」を加筆することとした。採用した略語は、本文中に頻出した以下の 25 の語句とした。

CDC、CLIA 法、CRF、DPC、  
EIA 法、ELISA 法、ENV (env)、  
GAG (gag)、GP、HBs 抗原、

H C V 抗体、H I V、I C 法、  
i n h o u s e、L T R、M S M、N A T、  
P A 法、P O L (p o l)、R N A、R T、  
R T - P C R、U N A I D S、W B、W H O。

## D. 考察

これまで HIV 確認検査に利用されてきたいくつかの検査試薬が販売中止になり、また一方で、WB 法に代わる新しい検査試薬が体外診断薬として新たに承認されるなど、現在、HIV 検査は過渡期にあると考えられる。本 Q&A 集の作成にあたっては、HIV 検査の現状に即した内容に加え、可能な限り HIV 検査の新しい変化に即した内容となるよう検討したいと考えている。

## E. 結論

HIV 検査に携わる専門職の人を対象とした「エビデンスにもとづいた HIV 検査に関する Q&A 集」の作成に取り組んだ。本年度は各項目の原稿の校正に加え、略語の解説を加筆、修正した。今度はデザインを決めて製本し、HIV 検査の現場に配付したい。

## F. 健康危険情報

特になし。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1) Makiko Kondo, Koji Sudo, Takako Sano, Takuya Kawahata, Ichiro Itoda, Shinya Iwamuro, Yukihiko Yoshimura, Natsuo Tachikawa, Yoko Kojima, Haruyo Mori, Hiroshi Fujiwara, Naoki Hasegawa, Shingo Kato. (2018) Comparative evaluation of the Geenius™ HIV 1/2 Confirmatory Assay and the HIV-1 and HIV-2 Western blots in the Japanese population. PLoS One. 13(10):e0198924.doi:10.1371/journal.pone.0198924. eCollection . Oct 31, 2018.

## 2. 学会発表

- 1) 須藤弘二, 佐野貴子, 近藤真規子, 今井光信, 今村顕史, 加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査(2017). 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 2) 近藤真規子, 佐野貴子, 長島真美, 貞升健志, 川畑拓也, 加藤真吾, 今村顕史. 全国地方衛生研究所における HIV 検査実施状況. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 3) 土屋菜歩, 佐野貴子, 近藤真規子, 堅多敦子, 石丸雄二, 城所敏英, カエベタ亜矢, 川畑拓也, 貞升健志, 須藤弘二, 加藤真吾, 大木幸子, 今井光信, 今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 4) 小谷宙, 加藤真吾, 親泊あいみ, 須藤弘二, 丸山理恵, 西松直美, 宇野俊介, 上菘義典, 藤原宏, 長谷川直樹. 準完全長プロウイルスによる治療効果の新しい評価. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 5) 岡崎玲子, 蜂谷敦子, 佐藤かおり, 豊嶋崇徳, 佐々木悟, 伊藤俊広, 林田庸総, 岡慎一, 瀧永博之, 古賀道子, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 椎野禎一郎, 須藤弘二, 加藤真吾, 谷口俊文, 猪狩英俊, 寒川整, 加藤英明, 石ヶ坪良明, 中島秀明, 吉野友祐, 太田康男, 茂呂寛, 渡邊珠代, 松田昌和, 重見麗, 岩谷靖雅, 横幕能行, 渡邊大, 小島洋子, 森治代, 藤井輝久, 高田清式, 南留美, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 藤田次郎, 杉浦互, 吉村和久, 菊池正. 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018

年 12 月.

- 6) 丸山理恵, 加藤真吾. HIV RNA と DNA の混合物から RNA を選択的に増幅する RT-PCR 法の開発. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 7) 本田徹郎, 久慈直昭, 丸山理恵, 須藤弘二, 加藤真吾. 健康な HIV 陽性男性が陰性女性との間に子供を持つために: 洗浄精子を用いた顕微授精について. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 8) 土屋菜歩, 佐野貴子, 近藤真規子, 堅多敦子, 石丸雄二, 城所敏英, カエベタ亜矢, 川畑拓也, 貞升健志, 須藤弘二, 加藤真吾, 大木幸子, 今井光信, 今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 9) 佐野貴子, 近藤真規子, 須藤弘二, 今井光信, 加藤真吾, 今村顕史. 民間検査センターにおける HIV 検査実施状況に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.
- 10) 川畑拓也, 井戸田一朗, 小島洋子, 近藤真規子, 貞升健志, 佐野貴子, 須藤弘二, 高田昇, 長島真美, 森治代, 加藤真吾, 今村顕史. エビデンスに基づいた専門職向け HIV 検査 Q&A 集の作成. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪府, 2018 年 12 月.

#### H.知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む)

- ①特許取得
- ②実用新案登録
- ③その他  
なし